

常任委員会の審査から

本会議で委員会付託された主な議案等について、各常任委員会の審査状況を報告します。

総務企画防災常任委員会

横山委員長、金子副委員長、大谷、小林(貴)、大島、荻原、黒川、中山各委員

議案第48号 足利市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報情報の提供に関する条例の制定について

○議案の内容

いわゆる番号法の施行に伴い、本市における個人番号の利用及び特定個人情報情報の提供に関し、必要な事項を定めるため条例を制定しようとするものである。

○質疑応答

問 マイナンバー制度による市民のメリット、デメリットは何か。

答 制度の導入により、添付書類などの負担軽減が図られるほか、より正確な所得の把握により、社会保障の適正な給付と税負担の公平化が図られることなどがメリットとして考えられる。一方で個人情報流出など懸念材料はあると思うが、いろいろな措置を講じたことにより国民の保護に十分配慮された制度としてできているので、これといったデメリットはない。

○審査結果 原案のとおり可決



議案第54号 平成27年度足利市一般会計補正予算(第2号)について

○議案の内容

今回の補正は、補助事業、単独事業及び積立金の追加と繰越明許費の設定を内容とするもので、歳入歳出予算に10億8千200万円を追加しようとするものである。

○質疑応答

問 公的病院等運営費補助金について、追加1億円の具体的な使い道は何か。

答 不採算医療を担っている公的病院に助成するものである。不採算医療は7つほどあり、結核医療、精神医療、救急告示病院、小児救急医療、救命救急センター、周産期医療、小児医療が該当する。

○審査結果 原案のとおり可決

民生環境水道常任委員会

大須賀委員長、斎藤副委員長、栗原、中島、小林(克)、渡辺、尾関、平塚各委員

議案第56号 平成27年度足利市国民健康保険特別会計(事業勘定)補正予算(第1号)について

○議案の内容

国庫支出金等の精算に伴う償還金の追加を内容とするもので、歳入歳出予算に2億1千100万円を追加しようとするものである。

○質疑応答

問 国、県等への償還金は、年度によって差が生じているが、この差について聞きたい。

答 償還金の中で一番金額の多い療養給付費等負担金は、3月から翌年2月の1年間の療養給付費などに対

市議会を傍聴しませんか



する交付金であり、その積算にあたっては、3月から10月分までは実績に基づき、また、11月から翌2月分までは、前年度の実績に基づいて積算して概算交付されるため、実際の診療状況等によって差が出てくるものと考えている。

○審査結果 原案のとおり可決

日 時	会議の種類
11月20日(金)10時～	議会運営委員会
30日(月)14時～	本会議(提案説明)
12月8日(火)10時～	〃 (質疑にあわせて一般質問)
9日(水)10時～	〃
10日(木)10時～	〃
11日(金)10時～	総務企画防災常任委員会
14日(月)10時～	民生環境水道常任委員会
15日(火)10時～	教育経済建設常任委員会
18日(金)10時～	議会運営委員会
14時～	本会議(委員長報告表決等)

※会議の開催日時などは変更される場合があります。
※お問い合わせは議会事務局(☎@2204)まで。

わたらせテレビで本会議は生中継、常任委員会は録画(放送日はおおむね全委員会開催後の翌日か翌々日)により、放送されています。ぜひご覧ください。



チャンネルは
デジタル112チャンネルです。

決算審議の概要

平成26年度一般会計及び特別会計等の決算(議案第57号～第67号、計11議案)を審議するため、議員全員で構成する決算審査特別委員会を設置し、審査を行いました。2日間にわたる審査の結果、全ての決算及び利益の処分を認定・可決し、本会議においても同様の審議結果になりました。決算の詳細な内容については、**11月号の広報あしかがみ(12ページから14ページ)**をご覧ください。

◆決算審査特別委員会

【委員長】 栗原 収 副議長 【副委員長】 大須賀 幸雄 議員

1日目 提案当局の説明(政策推進部長、上下水道部長)

監査委員からの報告

質疑

・議案第57号 一般会計 歳入～一般会計 歳出 農林水産費

2日目 質疑(1日目からの継続)

・議案第57号 一般会計 歳出 商工費～予備費、歳入・歳出の相互にわたる部分

・議案第58号 介護保険特別会計(保険事業勘定)決算

・議案第59号 国民健康保険特別会計(事業勘定)決算

・議案第60号 後期高齢者医療特別会計決算

・議案第61号 太陽光発電事業特別会計決算

・議案第62号 公設地方卸売市場事業特別会計決算

・議案第63号 農業集落排水事業特別会計決算

・議案第64号 公共下水道事業特別会計決算

・議案第65号 堀里ニュータウン下水処理事業特別会計決算

・議案第66号 水道事業会計利益の処分及び決算

・議案第67号 工業用水道事業会計利益の処分及び決算

討論、表決

一般会計と特別会計とは?

一般会計…市の基本的な施策を行うための会計であり、主な歳入には市税、地方交付税、国庫支出金等がある。

特別会計…特定の収入をもって、特定の事業を行うために設けられている。



◆本会議

決算審査特別委員会の審査報告に対し、下記の理由で決算の認定に賛成・反対の討論がありました。

⇒各議案の審議結果、賛否の状況は8、9ページに掲載

議案番号	反対の主な理由	賛成の主な理由
第57号	<ul style="list-style-type: none"> 消費税引き上げの影響で市民への負担が増となった。 市民の暮らし、福祉を拡充する施策がとられていない。 	<ul style="list-style-type: none"> 主要財源の市税は7年ぶりに増加となった。 限られた財源を有効活用し各施策の推進に努めた。 財政健全化法に基づく比率も基準を大きく下回り、健全性が示されている。
第58号	<ul style="list-style-type: none"> 介護保険料の支払い困難者がふえ続けており、減免制度をつくるべきである。 	<ul style="list-style-type: none"> 保険給付費が増加する中、保険料等の歳入の確保が図られ、適正な予算執行がなされた。
第59号	<ul style="list-style-type: none"> 加入世帯のうち支払い困難世帯は約4,200世帯もある。応能負担の原則に立ち所得に応じた国民健康保険税に改善すべきである。 	<ul style="list-style-type: none"> 歳入では国・県支出金など所要財源の確保が図られ、歳出においては保険給付事業のほか、被保険者の健康保持・増進に取り組んでいる。
第60号	<ul style="list-style-type: none"> 短期間の保険証の発行者が112人もいる。高齢者が安心して受けられるように体制を整えるべきである。 	<ul style="list-style-type: none"> 歳出の主体は栃木県後期高齢者医療広域連合への納付金であり、歳入については後期高齢者医療保険料、一般会計繰入金等で賄われている。
第66号	<ul style="list-style-type: none"> 職員を5人削減し、中でも技術者の補充を行っていない。技術者をふやし、安心な水道事業を運営していくことが求められる。 	<ul style="list-style-type: none"> 水需要の減少基調が続く中、経費削減や事業の合理化等に努めている。